

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校
第162号

総務部

2017.06.27

大村先生スキー部を激励 溶接コンテスト6連覇 関東大会で活躍

大村先生スキー部を激励

6月16日にノーベル医学生理学賞を受賞された大村智先生が本校を訪問され、今年1月に群馬県で行われた関東高校スキー大会『クロスカントリー競技男子リレー10km×4』で山岳・スキー部が県勢初の優勝を果たしたことから、部員6名を激励していただきました。大村先生は学生時代にクロスカントリースキーの経験もあり、「スキー

の経験から人と同じ練習をするのではなく、自分達で考えて練習することで上達していく。これは今の研究活動にもつながっている」と話され、部活動で得た経験は将来に役立つのでこれからも頑張りたいと激励していただきました。スキー競技はいまオフシーズンのため、登山やトレイルランニングなどに取り組んでいますが、大村先生の激励を今後の練習の励みにし、今シーズンもすばらしい成績を残せるように頑張りたいと思います。



は今の研究活動にもつながっている」と話され、部活動で得た経験は将来に役立つのでこれからも頑張りたいと激励していただきました。スキー競技はいまオフシーズンのため、登山やトレイルランニングなどに取り組んでいますが、大村先生の激励を今後の練習の励みにし、今シーズンもすばらしい成績を残せるよ



溶接コンテスト：6連覇上位独占

6月10日（土）に第9回山梨県高校生溶接競技会が山梨職業能力開発促進センターで行われ、本校から2年生3名が出場しました。この大会は被覆アーク溶接という溶接方法で行われる大会で、外観検査、内部検査（X線検査）、作業内容の丁寧さなどが総合的に審査されます。3名の生徒は運動部に所属していることもあり、両立しながら放課後遅くまで練習に取り組み、先生から厳しい指導を受けつつ、自己の人間力、技術力等、社会で通用する総合的な技術者としての力を身につけるために頑張りました。結果は、志村学樹君が優勝、永長暁羽君が準優勝、竹内悠人君が4位となり6連覇を達成することができました。また1位、2位の上位独占を5年連続で達成することもできました。上位2名は、来年4月に行われる第9回関東甲信越高校生溶接コンクールへの出場権を手にしたので、今年4月の同コンクールで優勝を果たせなかった先輩達の悔しさも背負い頑張ってもらいたいと思います。「技術の前に良き人間の形成が必要であること、心技体の調和の大切さ」を改めて感じる事ができた大会となりました。



は運動部に所属していることもあり、両立しながら放課後遅くまで練習に取り組み、先生から厳しい指導を受けつつ、自己の人間力、技術力等、社会で通用する総合的な技術者としての力を身につけるために



に頑張りました。結果は、志村学樹君が優勝、永長暁羽君が準優勝、竹内悠人君が4位となり6連覇を達成することができました。また1位、2位の上位独占を5年連続で達成することもできました。上位2名は、来年4月に行われる第9回関東甲信越高校生溶接コンクールへの出場権を手にしたので、今年4月の同コンクールで優勝を果たせなかった先輩達の悔しさも背負い頑張ってもらいたいと思います。「技術の前に良き人間の形成が必要であること、心技体の調和の大切さ」を改めて感じる事ができた大会となりました。

関東大会で活躍：レスリング部

6月3～4日に栃木県足利市で開催された関東高等学校レスリング大会へ参加しました。フリースタイルの部へ50kg 坂本昌也君、55kg 中山潮君、60kg 山本セイジ君、66kg 保坂有毅君、74kg 安楽龍馬君、84kg 篠原晃司君、96kg 猪股健佑君の7名、グレコローマンスタイルの部へ50kg 柏木優京君、55kg 稲葉海人君、60kg 矢部晴翔君、66kg 清水翔斗



君、74kg 古川貴也君、84kg 笹本雅人君、96kg 古川裕貴君、120kg 小林健信君の8名がエントリーし安楽龍馬君と稲葉海人君が昨年に続き優勝。矢部晴翔君と古川裕貴君が決勝戦で僅差の判定で敗れ惜しくも2位。猪股健佑君が4位入賞という結果でした。また、大会3連覇を達成した稲葉海人君がグレコローマンの部で最優秀選手賞をいただきました。

ソフトテニス部

6月3日～4日に平成29年度関東高等学校ソフトテニス大会が、山梨県甲府市小瀬スポーツ公園テニス場で開催されました。本校から男子個人戦（ダブルス）に、神宮寺翔太君・加藤諒君のペアが山梨県代表として出場し、1回戦で茨城県代表のペア（今大会、個人戦ベスト16）と対戦しました。前半ほぼ互角の展開でしたが、やはり関東のレベルは高く、惜しくも初戦敗退という結果となりました。地元開催とういことで、校長先生、教頭先生をはじめ関係職員に応援に来ていただき、さらにはソフトテニス部員が一丸となって応援する中でプレーできたことは、出場した選手はもちろん、応援した部員にとっても大変貴重な経験となりました。1、2年生の部員には、これからも引き続き練習に打ち込み、来年も関東大会出場を実現してもらいたいです。



弓道部

6月2日～4日に小瀬スポーツ公園武道館で行われた第61回関東高等学校弓道大会に、山梨4位通過校として31年ぶりに出場しました。3日（土）1回戦は5中／12射と緊張から硬くなりましたが、2回戦は8中／12射と力を出すことができました。合計的中数13中で決勝トーナメント進出は叶いませんでしたが、関東の強豪校と同じ舞台上で弓を引き、良い射をすることもできました。選手は、大前・安原佳伸君、中・井上雄太君、落・加藤諒大君、補欠・渡辺雄斗君です。第1回定期試験の直後でしたので、練習とテスト勉強を両立し、安原君については、4日（日）に第2種電気工事士筆記試験もあり、放課後は講習に参加してからの練習になりました。また、山梨開催だったため、補助員として部員全員が矢取りを担当し、大会運営における仕事を立派に全うしたことが部としての最大の収穫でした。関東大会出場の経験を今後の活動に生かし、日々稽古に励んでいます。



写真部

6月11日（日）に東京総合写真専門学校で行われた写真甲子園の南関東ブロック大会に出場しました。この大会は毎年7月に北海道東川町で行われる本大会の予選で南関東ブロック（千葉・神奈川・山梨）に含まれる本校は2年ぶりの出場となりました。ブロックからは、52校が作品を出品し上位10校が作品のプレゼンテーションを行いました。2年生の小沢一将君、志村彩乃さん、佐藤大悟君の3人で臨んだ大会でしたが、上位2校に出場権が得られる本戦には残念ながら出場できませんでした。今回のチームは来年の大会にも出場できますので、来年こそは写真部の大きな目標でもある写真甲子園出場目指して頑張っていきたいと思っています。



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp